

本校の国分寺学の取組

～国分寺四中～



国分寺学×SDGs講座

年に1回、SDGsの17テーマに関連した複数の講座から、生徒が関心のあるものを選んで受講します。講座の開設や当日の司会進行は、有志の生徒で行います。今年度は、コミュニティ・スクールと連携して、国分寺を中心に活躍する方々もお招きしました。



令和7年度の開設講座

- ・ふるさと文化財課
- ・災害キッチンカー
- ・キイニョン
- ・東京学芸大学Explayground推進機構
- ・国際開発援助
- ・ボランティア活動センターこくぶんじ
- ・国立ハンセン病資料館
- ・全国地球温暖化防止活動センター
- ・明星大学教授
- ・伊藤園
- ・LGBTER
- ・海外協力隊
- ・戦争伝承者

地域人材



生徒(1年生)

食品ロスをなくすスローガンを作るなかで、誰に対して、どのような対策をするのか、という視点を得ることができました。

生徒(2年生)

今までは「戦争」という大きなくりで見えていたけれど、実際にたくさんの人が苦しみ、亡くなっていったことが分かりました。

生徒(3年生)

武蔵国分寺に関する講義を聞いて、歴史は人々の感情や心によって生み出されるものだとなりました。

保護者の方

小さなきっかけから探究する楽しさを学びました。自分の枠を、自分で小さくしてはいけないと、改めて思いました。楽しかったです。

小学6年生の保護者の方

キルギスの文化紹介がとても興味深く、大変勉強になりました。学校の様子を見ることができて良かったです。次回も楽しみにしています。

地域の方

ハンセン病の歴史を詳しく伝える授業展開がとてもよかったです。考えたり、話し合ったりしながら、理解を深められていました。

本校の国分寺学の取組

～国分寺四中～

国分寺学×SDGsプロジェクト

3年生が、地域や日本、世界の課題を解決するために、半年間のプロジェクト学習に取り組んでいます。

令和7年度のプロジェクト

- ・グリーンカーテンを作ろう
- ・リサイクルクレヨン
- ・3分クッキング～災害時編～
- ・いらない洋服アップサイクル
- ・みかんの皮で洗剤づくり
- ・廃棄果物でジャム作り
- ・廃棄野菜で料理
- ・硝子アート
- ・ろ過装置作り
- ・手話を広げる
- ・ヴィーガン
- ・外来種の捕獲
- ・花のリサイクル
- ・傘のリサイクル
- ・地域のごみ拾い
- ・養蜂
- ・アレルギー対応
- ・在来種の保護

今年も国分寺まつりで、成果物を販売したり、リサイクルクレヨンのワークショップを行ったりしました。お手伝いいただいた保護者の方、地域の方、本当にありがとうございました!!



クレヨンリサイクル

問題意識 現在、二酸化炭素排出による地球温暖化が進行しています。その原因となる行為は我々のごみの排出があります。そこで、少しでもごみを減らすように幼稚園や保育園などの教育機関が多くある国分寺市内でクレヨンのリサイクルを行うことにしました。まだ使えるのに捨てられてしまうクレヨンをリサイクルしてごみを減らすことを目的としました。

活動内容 ①クレヨンの回収
まずクレヨンを集めるために、校内での呼びかけ、幼稚園保育園でのクレヨンの寄付をお願いして回収しました。中学生に継続することで使う機会が少なくなってしまうため多く集まると思い校内には「クレヨンBOX」を設置しました。幼稚園からももう短くて使えないものなどたくさんクレヨンをいただいたおかげで活動の幅が広がりました。

②クレヨンリサイクル1
まずはクレヨンをお湯で溶かして再度固める案があり、溶けやすいようにラベルをはがし、小さなサイズに折っていく作業を行いました。しかし、いざお湯で溶かそうとする30分ほどかかり、また全く理想のようなきれいなマールクレヨンにはならなかったことや後片付けのときに使った用具にこびりついてしまったクレヨンが取れずにそこでも時間やゴミを多く消費してしまいました。

③クレヨンリサイクル2
湯で溶かしていたクレヨンを電子レンジを用いて溶かすことにより短い時間でごみも少なく、色や形も調整しやすいリサイクルクレヨンができました。活動の幅が大きく広がったため使っていて楽しい、明るく惹かれるような色の組み合わせにも挑戦しました。

ネコの型や丸の型などを用いてあまり売っていないようなクレヨンも作り、使う人すべてが楽しめるような工夫を施しました。

作り方 ①クレヨンのフィルムや薄色のクレヨンについている汚れを取り除きます。
②溶けやすいように細かく砕きます。
③好きな型に好きな色の組み合わせで小さなクレヨンをいれてレンジで5分ほど温めたのち10分ほど冷まします。

プロジェクトを終えて 昨年度の先輩方がこのマールクレヨンを作っていた時にはたくさん作れて簡単にできるなんて素敵じゃないかとおもっていましたが、活動を始めてまず思ったのは家のクレヨンを探しているとき忘れていたクレヨンが多数みつかったりあまり気づかないところにもたくさんのおもちゃになってしまったものたちがいることです。いざ自分たちで製作を初めてみると何が正しい方法なのか、次に何をすべきなのか全く分からずはじめのうちは行き詰まることが多かった印象でした。何度か試行錯誤を繰り返していきうちに「でもこうすればもっと長くなるじゃん」という気づきがたくさんありました。自分たちで作っていきうちにこの手軽に楽しめて、自分の想像力や工夫の力を伸ばすことのできるリサイクルをもっと知ってほしいと思いました。地球で私たちが長くこの先も歴史を残せるような環境にするためにも一人一人の小さな意識と実行力でよりよい地球環境にしていきたいと思いました。

私たちにできること 身近なものに着目して、積極的にリサイクルをはじめとする工夫を見つけてごみの排出量を減らそう
小さいとき使っていたのに使わなくなってしまったものの活用方法を考えてみよう

活動録話:クレヨンを砕くときには熱心で鋭いものをクレヨンにつけていました。作る時には大きめのはさみなどを用意してください。